

企業との連携
全日空と協力して米
子空港周辺の植樹を
行ないました。



フォレスト
サポーターズ



美しい森林づくり推進国民運動



国内の森林保全活動によって、 海外の森林環境も整備する ピースプロジェクト

グリーナー グリーナー
Greener X Greener

——社団法人ガールスカウト日本連盟

難民キャンプ支援

昨年度までの15年間、ガールスカウト日本連盟は、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と協力して、難民の子どもたちに「ピースバック」というプレゼントを贈る活動を行ってきました。



ピースプロジェクトを
説明する日本連盟理
事の湯田ミノリさん

 森をささえよう

 森と暮らそう

フォレスト・サポーターズ、ガールスカウト日本連盟が4月から開始した「ピースプロジェクト Greener X Greener」。これまで取り組んできた難民支援を発展させ、国内の森林保全活動をはじめとする環境活動で得た利益により、海外の難民キャンプ周辺の森林環境の改善を行なう新しい取組を紹介します。

ガールスカウト日本連盟は、昨年度まで難民の子どもたちへのプレゼント「ピースバック」を作成し、世界の平和について学ぶ「ピースバックプロジェクト」を展開してきました。これはガールガイド・ガールスカウト世界連盟 (WAGGGS) が1993年にスタートさせたもので、日本連盟では他の国々が3年でプロジェクトを終了した後も取組を続け、最初はアフガン難民についてミャンマー難民の方々と15年にわたって24万8千個のピースバックと6万足の靴を贈りました。

今年度は国内にも目を向け、国連と連携しているWAGGGSの国連ミレニアム開発目標の達成に向けた取組の一環として、日本国内の環境活動によって難民支援を行うことを目的としたGreener X Greenerを立ち上げました。この新しいプロジェクトは、ふたつのGreener (緑を増やすことを意味するグリーン) の比較級で構成されています。

まず、国内ではガールスカウトが地域の方々や企業と一緒に森林保全活動など環境活動を行い、日本の緑をもっと豊かにします——これが二つめのGreenerです。

二つめのGreenerは、国内の活動によって生まれた利益を海外の難民キャンプ周辺の森林環境の改善に役立てること。難民キャンプは原生林などに作られるケースが多く、そこへ急に多くの人が住むことで土地に大きなインパクトを与え、周辺の森が荒れたり、森から収入を得ていた住民の間で紛争が発生しています。また、森林破壊などによる気候変動も難民を生み出す原因

今年度は国内にも目を向け、国連と連携しているWAGGGSの国連ミレニアム開発目標の達成に向けた取組の一環として、日本国内の環境活動によって難民支援を行うことを目的としたGreener X Greenerを立ち上げました。この新しいプロジェクトは、ふたつのGreener (緑を増やすことを意味するグリーン) の比較級で構成されています。

4つのアクション 活動紹介



鉛筆立て作り

温かみのある木を使ったものづくりを通して、森への感謝の心が生まれます。



緑の募金活動

美しい森林を守るために、緑の募金活動を行なっています。

緑化活動

下草刈り、枝打ち、間伐などにより、自らの手による森林づくり体験を行なっています。



ツリークライミング

高さ8mの樹上から見る森の素晴らしい景色。自然とともに森の中で生活し、その大切さを学びます。

今日からやろう！森のための

4つのアクション



森にふれよう



木をつかおう

のひとつとされておられ、難民問題の背景には環境の変化が大きく関わっているといわれています。こうした問題の解決に、日本国内の活動による利益を充てようというものです。

国内でガールスカウト日本連盟が中心となり、環境問題に積極的に関わっていくことは、大きな視点で見れば地球全体の環境をもっと良くしていくことにつながります。自分たちの努力が世界につながり、もしかしたら難民を減らすことができるのではないかと、もつすでに難民がいる地域には、自分たちが直接働きかけ、地域の森林環境を良くすることができるとは、ないか—— GreenXGreenは、そういう目的をもったプロジェクトです。

活動により利益が生まれるという発想は、チャリティマラソンを例に考えると分かりやすいと思います。「完走したら寄付してください。その寄付金は〇〇に活用します」というチャリティマラソンに対して、GreenXGreenの場合にはマラソンの部分が地域に合

わせた活動——畑での作業や森の下草刈りだったり、間伐材の利用促進キャンペーンになるわけです。

GreenXGreenはガールスカウトだけのものではありません。海外の難民キャンプ支援はUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携して行いますが、国内活動は地域や企業、NPO/NGOの方々とともに取り組んでいます。既に鳥取県では米子空港の周辺の緑化活動を行っている全日空と一緒に植林を行なった、栃木県では足尾銅山周辺の植林に参加したりといった取組が行なわれています。

「社会貢献活動をしたいが何をしたらいいかわからないという方々に、一緒に何かをする提案ができればと考えています。ガールスカウトは地域の森林保全活動に積極的に参加し、日本の森を良くする努力をしますので、地域や企業、NPO/NGOの皆さんは、どうか私たちの難民キャンプ支援に力を貸してください」と、ガールスカウト日本連盟の湯田さんはプロジェクトについて語っています。